

8/1(金) 鋼材加工メーカー株式会社サンユウと立地協定調印

新日鉄系鋼材加工メーカー、株式会社サンユウ（本社大阪府枚方市、内浦宅蔵社長）の七城町蘇崎工業団地への立地協定調印式が熊本県庁でありました。

同社は、自動車や産業用機械に組み込まれるために高品質が求められる、重要保安部品となるボルトやナットの素材であるみがき棒鋼（ぼうこう）や冷間圧造用鋼線と呼ばれる鋼材の二次加工品を生産しています。

同社4カ所目の生産拠点となる工場は、北部九州で集積の著しい自動車産業における部品メーカーへの製品供給拡大を担っています。新工場は（株）サンユウ九州で、年間生産能力は全体の約3割の予定です。

内浦社長は天草市（旧牛深）の出身であり、「現従業員の約半分は熊本県出身者が占めています。地元への恩返し、市のため、また市民の皆さんに愛される企業となれるよう努めます」と述べられました。

福村市長からは「地元を中心に採用をいただけるということで、本市また市民にとっても明るい話題です。経済・産業振興に新しい「命」を吹き込んでもらいました。今後もできる限り協力をしていきたいです」と期待を込めた挨拶がありました。

同工場は、平成21年春に着工され、同年下半期の操業開始、当初15人程度、操業後5年以内に20人程度の雇用が予定されています。



調印式で手を取り合う3人。
左から福村市長、島田県商工観光労働部長、
内浦社長

8/1(金)～8/3(日) 浦添LCと天草本渡LCとの青少年交流会



菊池市役所を訪れた子どもたち

菊池ライオンズクラブ（LC）と姉妹提携を結んでいる、沖縄県の浦添LCと天草本渡LCが派遣した子どもたち21人が菊池市を訪れ、楽しい夏休みの思い出作りをしました。初日に、菊池市役所を訪れた一行は、浦添市長と天草市長からの親書を福村市長に手渡し「菊池の人々との出会いを大切に、学校や家庭では学べないことをすばらしい自然の中で体験し、一生忘れない交流にします」とあいさつ。福村市長が「3日間という短い期間ですが、自然環境と人情に触れ、爽やかな思い出を作ってください」と歓迎しました。

子どもたちは、2泊3日の日程で菊池LCの会員宅にホームステイし、菊池の子どもたちと交流したり、菊池渓谷や竜門ダムなどを見学し、大自然を満喫しました。

8/5(火)～8/7(木) 青少年育成キャンプ

2泊3日の日程で、市内小学生49人が参加し、菊池少年自然の家で青少年育成キャンプが行われました。

これは、夏休みに野外活動や集団生活などの体験を通して、自立性や協調性を育み、個性豊かで心身ともにたくましい青少年の健全な育成を図ることを目的として、例年、菊池市教育委員会が実施しているものです。

キャンプでは、野外炊飯はもちろんのこと、鳳儀山聖護寺での座禅体験など、普段の生活では体験することのできない様々な活動に、互いに協力しながら、真剣に取り組む子どもたちの姿を見ることができました。

2泊3日という短い時間でしたが、このキャンプに参加して得たものをこれからの生活に活かしてもらいたいと思います。



協力して野外炊飯に取り組む子どもたち

7/27(日) 一日建築組合奉仕作業

菊池市建築組合（山本勝義組合長）の組合員45人が、旧菊池市内の小学校9校、中学校2校、保育園4園に分かれ、ボランティアによる施設の改修作業を行いました。

この奉仕作業は「市民の皆さんのお陰で自分たちの仕事ができる。感謝の気持ちを何らかの形で表そう」と、昭和53年から毎年夏休みを利用して行われているもので、今年が30回目となります。

作業先のひとつ菊池北小学校では、学校から要望のあった給食室のキャスター付き作業台や倉庫の棚などを手作りして仕上げていました。

山本組合長は「木造校舎時代の廊下の張替えや引き戸の修理などから、最近では施設が丈夫になり掲示板の取り付けや書類整理棚などの修理・補修へと変わってきました。でも、組合員の感謝の気持ちは、作業をはじめた時から変わっていません」と30年間の奉仕作業を振り返りながら話されました。



猛暑の中、ボランティアで作業をする組合員

7/31(木) 泗水っ子すこやか育成会に感謝状



表彰状を受け取る久川会長(左)

泗水っ子すこやか育成会（久川寛貴会長）の「地域の子は地域で育てる」という理念で続けられている防犯活動に対して、菊池警察署長と菊池市防犯協会長から感謝状が贈られました。同会は平成18年度から旧泗水町を中心に青少年の健全育成活動に積極的に取り組んでいます。現在、趣旨に賛同した26団体が活動しており、防犯マップの作成や登校時の挨拶運動・早朝街頭指導、各学期末時のパトロールなどを行っています。今回はその活動が評価されました。

久川会長は「日々子どもたちの安全・安心のために頑張ってきた活動が認められたと思います。今後は、さらに地域の安全のために頑張りたいです」と話されました。今後の同会の活躍が期待されます。

7/22(火)～7/31(木) 泗水町ナイターソフトボール大会

恒例の泗水町ナイターソフトボール大会が、菊池市体育協会泗水支部と菊池市ソフトボール協会泗水支部の主催で行われ、永区チームが優勝しました。泗水町内の各行政区から31チームの参加があり、8日間にわたり熱い戦いが繰り広げられました。

蒸し暑い会場では、日頃持ち慣れないバットで空振りする人や特大のホームランを打ち「ナイスバッティング」の声の中を、ホームインする人などいました。上位の結果は次のとおりです。

優勝 永区、2位 富の原一区、3位 高江出分区、3位 富の原東区



真夏の球宴を制覇した永区

8/1(金) 石原孝浩さんが熊本県賞を受賞



表彰式に参加した石原さん(右から4番目)

中学生水の作文コンクールにおいて、菊池南中1年の石原孝浩さんが熊本県賞を受賞しました。県内22の中学校から2,536編もの応募の中での栄誉です。

このコンクールは、毎年8月1日を「水の日」として、水の大切さを考え、水をまもる行動への決意を新たにしようという全国的な取り組みの中で、国土交通省と熊本県が共催して実施したものです。

石原さんの作文は、水を通して93歳のおばあちゃんとの関わりなど、家族への愛情あふれる作品となっており、審査員の講評では小説のかおりのするすばらしい作品と評されました。